

2024年度事業報告

【1】公益事業の部

1. 臨床研究事業

JFMC34-0601：ホルモン陽性StageⅡ,ⅢA,閉経後乳癌に対するエキセメスタン24週間術前治療の有用性の検討（臨床第Ⅱ相試験）

1. 最終論文を作成中

JFMC41-1001-C2（付随研究）：StageⅡ/StageⅢ結腸癌治癒切除例に対する術後補助化学療法としてのmFOLFOX6療法の認容性に関する検討ーオキサリプラチンの安全性指標に関する策定研究ー

1. 遺伝子統合解析を実施中（JFMC47付随統合）

JFMC46-1201：再発危険因子を有するStageⅡ大腸癌に対するUFT/LV療法の臨床的有用性に関する研究

1. 英文論文(最終解析)を発表した(International Journal of Clinical Oncology)

DOI: 10.1007/s10147-024-02565-5

JFMC47-1202-C3（付随研究）：StageⅢ結腸癌治癒切除例に対する術後補助化学療法としてのmFOLFOX6療法またはXELOX療法における5-FU系抗がん剤およびオキサリプラチンの至適投与期間に関するランダム化第Ⅲ相比較臨床試験 付随研究

※JFMC41付随統合解析

1. 遺伝子統合解析を実施中（JFMC41付随統合）

JFMC48-1301-C4：再発危険因子を有するハイリスクStageⅡ結腸がん治癒切除例に対する術後補助化学療法としてのmFOLFOX6療法またはXELOX療法の至適投与期間に関するランダム化第Ⅲ相比較臨床試験

1. 学会発表した（ASCO-GI, 日本臨床腫瘍学会）
2. 認定IRB（CRB）へ研究終了届提出および適宜変更申請を行った

JFMC50-1701-C6：ロンサーフ（TFTD）使用症例の後ろ向き観察（コホート）研究

1. 英文論文を作成中

JFMC52-2401-N1：乳癌の原発部位から転移再発部位におけるHER2発現のダイナミクスを検討する多機関共同後向きコホート研究

1. 参加施設手続き対応を行った（倫理審査、実施許可証受領、研究資材発送、オプトアウト公開確認、EDC研究記録受領作業等）
2. WEB説明会を開催した（2025. 2. 21）
3. EDCによる症例集積を開始した（26例集積済/目標250例 2025. 3. 31時点）
4. 解析計画書を作成した

2024年度 臨床研究明細一覧は次のとおり。

2025. 3. 31時点

JFMC	集積期間	追跡期間	登録施設/参加施設	集積数/目標数	現在の状況
34	2006. 3-2007. 12	～2018. 8	30/37 (81. 1%)	116/110 (105. 4%)	英文論文作成中
41付随研究	2011. 1-2012. 12	－	100/128 (78. 1%)	486/800 (60. 7%)	最終解析中
46	2012. 5-2016. 4	～2021. 4	321/395 (81. 0%)	1230/1200 (102. 5%)	研究終了
47付随研究	2012. 8-2014. 12	－	159/244 (65. 2%)	893/1200 (74. 3%)	最終解析中
48	2014. 2-2017. 1	～2024. 1	102/170 (60. 0%)	525/500 (105. 0%)	英文論文作成中
50	2017. 6-2017. 11	－	127/142 (89. 4%)	1770/1200 (147. 5%)	英文論文作成中
52	2025. 3-2025. 10	－	6/36 (16. 7%)	26/250 (10. 4%)	症例集積中

2. がん治療に関する予備研究

食道がんの3種の細胞株に対して脂肪由来幹細胞（ADSC）を加えて混合培養し、がん細胞の増殖を抑える非臨床試験を実施。

3. データベース支援委員会

- 2020年度に採択された6研究の解析を実施した。
- 解析結果の論文化・公表関連業務を行った。

研究番号	研究課題	現状報告
JFMC-DB2020-01	大腸がんT1/T2, N(+) 症例における術後補助化学療法の有用性	論文投稿中
JFMC-DB2020-02	腎機能障害患者における大腸癌補助化学療法の検証	Anticancer Research 掲載
JFMC-DB2020-03	大腸癌術後合併症と術後補助化学療法施行及び予後への影響	IJCO掲載
JFMC-DB2020-04	StageII、III直腸癌に対する術後補助化学療法の進行度ステージ別の有効性に関する後ろ向き探索的な統合解析	論文執筆中
JFMC-DB2020-05	高齢者における大腸癌術後補助化学療法の有効性と忍容性	論文投稿中
JFMC-DB2020-06	大腸癌術後補助化学療法における有害事象と予後の関連	論文投稿中

4. 利益相反委員会

- 第7回利益相反委員会を開催した。（2024. 11. 19）

5. 各種委員会

臨床試験審査委員会

- 第103回臨床試験審査委員会を開催した。（2024. 9. 25）

6. 財務委員会

- JFMC52-2401-N1研究予算の書面審議を開催した。（2024. 10）

7. 臓器別・機能別研究班

- 新規臨床試験実施に向けた委員会を開催した。
- 進捗状況は下記の通り。

研究班	班会議実施日	2024 年度の進捗
乳がん	2024. 04. 02 (第 4 回) 2024. 07. 01 (第 5 回) 2024. 09. 03 (第 6 回) 2024. 12. 04 (第 7 回)	JFMC52 試験として 3 月から登録開始
胃がん	2024. 07. 11 (第 2 回) 2024. 10. 18 (第 3 回)	製薬企業に研究提案実施
食道がん	2024. 08. 20 (第 1 回) 2024. 10. 02 (第 2 回)	製薬企業に研究提案実施 (1 研究が企業内で検討中)
免疫	2025. 02. 20 (第 1 回前期) 2025. 02. 27 (第 2 回後期) 班員の都合により 2 回に分けて開催	ICI 治療後の腫瘍微小環境を検討する試験の実施計画策定 2025 年度開始予定
がんと再生医療	-	肝細胞でがんの増殖を抑える非臨床試験実施
手術・術式	-	縦隔鏡手術の前向き試験を検討中
肺がん		-
肝臓がん		-
膵臓がん		-
大腸がん		医療機器企業のためのアドバイザーリーボード設置に協力
医療機器		-

8. 再生医療

1. 再生医療セミナー Webセミナーおよび経済同友会での招待講演を実施した。
2. プレスリリース 厚生労働記者クラブおよびPRTIMESで情報公開した。
3. 動画公開 セミナー内容をYouTubeおよびHPで公開した。(英語版も作成)

9. 啓発活動

1. 第2回がんフェア開催に向け検討を行った。
2. 再生医療の最新動向に関する情報を発信した。(WEBセミナー、PRTIMES)

10. 広報・PR活動

1. がん集学財団ニュースvol145を作成中
2. SNS (Instagram)・YouTubeを通じた情報を発信した。
3. PRTIMESを通じて、財団情報に関するプレスリリース配信を実施した。(5本)
4. 当財団ホームページにおいて諸事業を適宜情報発信するとともにメールマガジンで事業報告を1900名以上に配信した。

【2】収益事業の部

1. 医療機器事業

1. 開発上のアドバイス、研究計画への助言を行うJFMC臓器別・機能別研究班によるアドバイザーリーボードと連携を取り推進を図る。
2. Boston Medical Sciences株式会社が開発する「無下剤バーチャル内視鏡検査システム」の開発に関するアドバイザーリーボード(大腸がん班)を設置し、2025. 3. 19に初回のアドバイザーリーボード会議を実施した。